

2026年度

第1回



老年薬学

服薬総合評価研修会

「服用薬剤調整支援料2」対応

2026年度 第1回 老年薬学 服薬総合評価研修会（東京）

開催日	2026年8月9日(日)
会場	現地会場（AP新橋）※事前オンデマンド講義受講必須
定員	150名
参加形式	講義研修はオンデマンド視聴／演習研修は現地対面式
申込受付期間	2026年6月22日(月)12:00 ～ 2026年7月10日(金)0:00
決済方法	クレジットのみ
入金締切	7月9日(木)まで
参加費	会員20,000円、非会員25,000円

参加申込用
二次元コード

演習研修（現地対面式）

実施日：2026年8月9日(日)
時間：9:30～16:10（9:00受付開始）
会場：AP新橋 3F A1ルーム
住所：〒105-0004 東京都港区新橋1-12-9
その他：各注意事項等につきましては[HPをご確認ください](#)

タイムスケジュール

09:30～09:40	オリエンテーション
09:40～12:10	①服薬総合評価 基礎編
12:10～13:00	休憩
13:00～15:30	②服薬総合評価 応用編
15:30～16:00	③レポート作成の考え方
16:00～16:10	事務連絡

▶ 講義研修（オンデマンド視聴）

視聴期間：2026年7月1日(水)～2026年8月9日(日) 講義数：各約30分 必須13項目（計390分）＋選択2項目以上（計60分以上）

必須項目：

- ポリファーマシーとは？
- 服薬総合評価の考え方
- 薬物有害事象の評価と老年症候群
- 薬物動態の変化と薬物治療、腎機能低下
- 高齢者の処方適正化スクリーニングツール（国内外、抗コリン等を含む）
- 服薬アドヒアランスの評価と処方簡素化
- 高齢者のマルチモビディティに対する治療の優先順位
- 高齢者の病態の特徴と治療の基本
- 高齢者総合機能評価
- 患者への問診・情報収集の方法（多職種連携）
- 処方提案の具体例1
- 処方提案の具体例2
- 服薬支援

選択項目：

老年疾患に関する知識（認知症・せん妄・うつ病、がん、高血圧症、糖尿病、心不全、骨粗鬆症、便秘、排尿障害）から2項目以上

演習研修
ファシリテーター

溝神 文博（国立長寿医療研究センター）
相宮 幸典（スギ薬局）
大本 暢子（神戸大学医学部附属病院）
川添 哲嗣（武庫川女子大学）
末松 文博（日本ストレスマネジメント協会JASMA）
丸岡 弘治（介護老人保健施設横浜あおぼの里）

武藤 浩司（新潟市民病院）
赤尾 眞（米沢市立病院）
中道 真理子（原土井病院）
篠永 浩（三豊総合病院）
白根 達彦（東京大学医学部附属病院）
神保 美紗子（スギ薬局）



主催：日本老年薬学会

お問い合わせ：

日本老年薬学会事務局
info@jsgp.or.jp

公益社団法人

後援：日本薬剤師会、日本老年医学会

一般社団法人